

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 20-002

PDCA	事務事業名	放課後子ども教室推進事業	部課等名	健康子ども部子育て支援課 育成担当	担当 内線等	加藤 407	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 4. 青少年健全育成					
		単位施策： (2) 子どもたちの居場所づくり					
根拠法令等	半田市放課後子供教室推進事業実施要綱						
対象・目的	放課後の子どもたちの安心・安全な活動拠点及び居場所として、放課後子ども教室を実施し、子どもたちの豊かな人間性の育成と地域コミュニティの充実を図る。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室を全小学校区で継続して実施していく。</li> <li>各教室のコーディネーターやスタッフとして、地域住民の方々に参画していただく。</li> </ul>						
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		放課後子ども教室の設置数	13	13	13	教室	
		事業費	7,566	7,604	7,008	千円	
		人件費	6,711	3,913	3,405	千円	
		総事業費	14,277	11,517	10,413	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		子ども教室1か所あたりのコスト	1,098	886	801	千円/教室	
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		放課後子ども教室の登録児童数	実績値	326	330	321	人
			目標値	330	325	325	
		放課後子ども教室のスタッフ数	実績値	223	224	205	人
			目標値	260	230	230	
		実績値					
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	<b>C</b>					
		小学校区ごとの教室で受け入れ可能な児童数に上限があるため、全体としては登録児童数の目標値を下回る結果となっているが、小学校区ごとでみると、抽選により参加児童を決定したところもあり、参加希望児童全員を受け入れすることができなかった。スタッフ数についても全体として減少しており、教室によってはスタッフの確保に苦慮している状況があり、スタッフの高齢化も課題となっている。					
	<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b>				
地域の方々にコーディネーターやスタッフとして参画していただき事業を実施しているため、その人員確保のために、引き続き市報等で事業周知とスタッフの募集を行う。また、子どもたちの安心・安全な居場所であると同時に、地域とのつながりを深め、子どもたちの豊かな人間性の育成につながる教室を開催できるよう、スタッフ数の増員を図るなどより多くの児童が参加できるような運営方法を考えていく。							
令和2年度の目標		成果指標	目標値	単位			
		放課後子ども教室の登録児童数	325	人			
	放課後子ども教室のスタッフ数	234	人				